

渡良瀬遊水地の湿地保全と賢明な利用推進事業

【 環境保全 観光・交流 情報発信・PR 】

【 事業費 : 16,027千円 】

ラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」は、洪水から首都圏を守る治水の要であるとともに、数多くの貴重な動植物が生息・生育し、国の特別天然記念物コウノトリが定着する「自然の宝庫」です。小山市では、生物多様性のシンボルでもあるコウノトリも暮らせる貴重な自然環境を保全し、未来へ引き継ぐため、渡良瀬遊水地第2調節池でのセイタカアワダチソウ等の外来植物除去や地引き網を使用した外来魚駆除等に市民協働のもと取り組んでいます。

また、渡良瀬遊水地の拠点施設として開館した「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館」では、コウノトリに関する最新情報の発信及び各種企画展やエコツアー、自然体験イベント等の実施により、地域の活性化に取り組んでいます。

